



令和6年度 学校だより

つなぐ

翠輝学園 つくば市立
みどりの南小学校
第12号
発行日 R6. 6. 25

「安心」と「夢中」のために 校内フリースクール「Sルーム」 多様な学びの「場」の一つとして

つくば市では、今年度より市内全校に「校内フリースクール」が設置されました。様々な要因で学校に行けない子供たちが全国的に増えているため、そんな子供たちを支援するつくば市独自の取り組みの一つです。

「校内フリースクール」は教室に行けない子供たちのために、学習支援や居場所を提供するためのものです、上のような場所です。また、ここでは、子供たち自身が「自己決定」をしていく場でもあります。自分の意思を伝えるアウトプットは、将来の自立のために大切です。

- ・教室にどうしても行けない児童が行きたいと思ったら行っていい場所
- ・教室に行けない、または教室に居づらいと感じる児童に寄り添う場所
- ・児童が自分のリズムで学ぶことを支援する場所

この教室を担当するのは教員免許を持つ専任職員「校内フリースクール支援員」の 稲生 千砂 先生です。（なお、現在、水曜日は基本的に閉室させていただきます。）

一人残らず子供たちの学びの場を保障するため、必要に応じて活用してまいります。詳しくは学校までお問い合わせください。（参考：つくば市かわら版第31号）

一人残らず子供たちの学びの場を保障するため、必要に応じて活用してまいります。詳しくは学校までお問い合わせください。（参考：つくば市かわら版第31号）



学びの風景

日々の授業ではさまざまな学びが生まれています。その様子をご紹介します。

【3年「国語」 1人1台端末を活用した学び】

6月21日(金)3校時、3年2組、黒田先生の国語の授業。この日は「心が動いたことを詩で表そう」という内容で、ICT機器を活用しての授業でした。

まず電子黒板の教師用デジタル教科書を使って説明をします。つくば市ではデジタル教科書は全教科で導入されており、先生方にとっては紙の教科書とともに日常の必須アイテムです。

最初の活動では、詩をつくるための題材として「ふだんの生活の中で楽しかったことやうれしかったこと、はっとしたり、おどろいたこと」について、端末を使って書き込みます。子供たちの机は、昔の机と比べると大きく、ノートを広げても端末を置く余裕があります。この日、子供たちは教育用掲示板アプリ「Padlet(パドレット)」を使い、各自の入力方法（タッチキーボード、手書き等）で書き込んでいきます。中にはまだ学んでいないローマ字で、早見表を片手に入力する子も。

そして、教科書の詩を音読した後、詩は文章とどんな違いがあるか、自分の考えを書き込んでいきます。「同じ言葉が繰り返している」「うたみたいなかんじ」「歌っているみたい」等、様々な気付きが書き込まれ、手を挙げて発表しなくてもすぐに自分の考えをアウトプットでき、リアルタイムで多くの友達のことを共有できる点は効果的で、自分では気が付かなかった考えに感心する声が出ていました。

またアプリには意見にリプライ（返信）したり、共感する「いいね」をしたりする等、SNSのような機能もあります。まだあまり使っていませんが、一般的に SNS トラブルも心配される昨今ですので、小学生からネットを正しく安全に使うための情報モラルの教育を進めるとともに、日頃の授業の中でもルールやマナー等についても学んでいく必要があります。

